

平成18年4月24日
 経済産業省

CDMプロジェクト政府承認審査結果について (申請者：電源開発株式会社、三菱UFJ証券株式会社)

電源開発株式会社(実施国：ブラジル)、三菱UFJ証券株式会社(実施国：マレーシア)により日本政府承認申請のあったクリーン開発メカニズム(CDM)に係る事業について、京都メカニズム推進・活用会議における審査の結果、事業承認指針に基づき、平成18年4月20日(木)付けで承認されました。
 なお、本承認によって、我が国が承認したCDM/JIプロジェクトは合計48件となります。

1. 下記のCDM事業は、経済産業省に対して日本政府承認の申請がなされ、京都メカニズム推進・活用会議において、電源開発株式会社により申請された事業に関するプロジェクト支援担当省庁は経済産業省、三菱UFJ証券株式会社により申請された事業に関するプロジェクト支援担当省庁は経済産業省及び環境省と決定されたものです。
2. これらの案件は、今後、DOE(指定運営機関；CDM理事会が指定する第三者機関)による事業審査報告書をCDM理事会に提出し、当該CDM事業の登録を申請する必要があります。

申請者	実施国	プロジェクト名	プロジェクトの概要	排出削減量 予測(年間)
電源開発株式会社	ブラジル	ブラジル国 Aquarius 小水力プロジェクト	発電容量4.2MWの流れ込み式水力発電事業。	平均1.4万トンのCO ₂
三菱UFJ証券株式会社	マレーシア	マレーシア国ペラク州に位置する総発電量11.5MWのパーム椰子房有効利用バイオマス発電事業	新規にパーム椰子房発電プラントを建設し、従来、投棄されていたパーム椰子房を燃料として発電する。	平均15.6万トンのCO ₂

(本発表資料のお問い合わせ先)
 産業技術環境局環境政策課京都メカニズムヘルプデスク室
 担当者：斎藤、石黒
 電話：03-3501-1511(内線3521~25)
 03-3501-1679(直通)
 E-mail：kyomecha@meti.go.jp

ブラジル国 Aquarius 小水力プロジェクト 概要

- (1) 日本国内実施主体の名称
電源開発株式会社
- (2) プロジェクト概要
発電容量 4 . 2 MW、流れ込み式の水力発電を行うことにより、温室効果ガスを排出する化石燃料発電所からの発生電力を代替する。
- (3) ホスト国のプロジェクト参加者
Aquarius Energetica S.A.
- (4) CO₂ 排出削減量
1 . 4 万トン CO₂ / 年間
- (5) クレジット獲得期間
2 0 0 6 年 8 月から 7 年間
- (6) ホスト国承認
審査中
- (7) プロジェクト実施場所
ブラジル マトグロッセ・ド・スル州



プロジェクト実施場所

マレーシア国ペラク州に位置する総発電量 11.5MW の
パーム椰子房有効利用バイオマス発電事業 概要

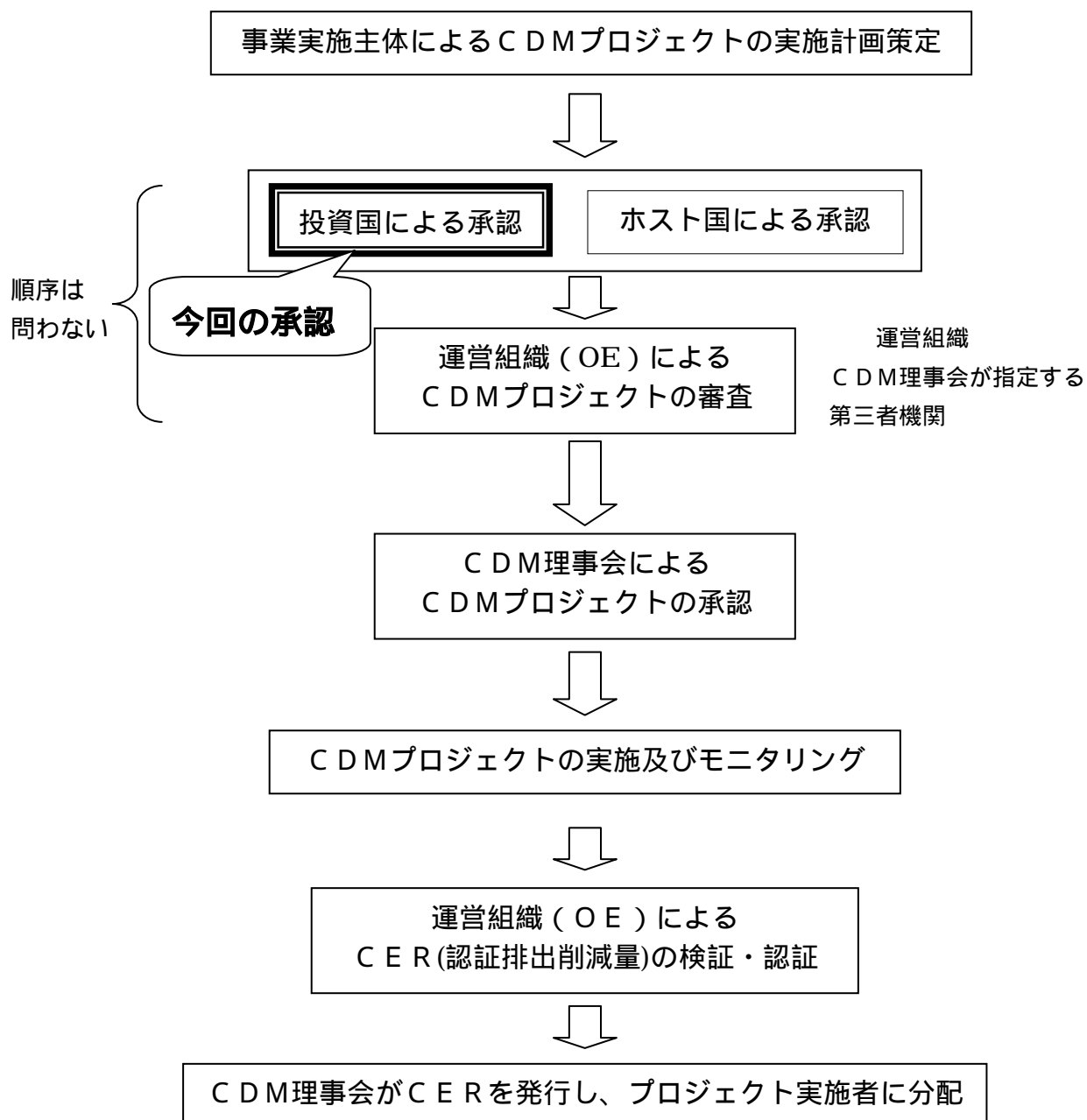
- (1) 日本国内実施主体の名称
三菱UFJ証券株式会社
- (2) プロジェクト概要
新規にパーム椰子房発電プラントを建設し、従来、投棄されていたパーム椰子房を燃料として発電する。
- (3) ホスト国のプロジェクト参加者
プミバイオパワー（パンタイレミ）株式会社（本プロジェクトを開発、運営することを目的に設立された発電事業主体）
- (4) CO₂ 排出削減量
15.6万トンCO₂ / 年間
- (5) クレジット獲得期間
2007年1月から7年間
- (6) ホスト国承認
審査中
- (7) プロジェクト実施場所
マレーシア国 ペラク州 パンタイ・レミ



クリーン開発メカニズム (C D M) プロジェクトの流れ

【クリーン開発メカニズム】

先進国と途上国が共同で事業を実施し、その削減分を投資国 (先進国) が自国の目標達成に利用できる制度



日本政府承認CDM/JIプロジェクト一覧(平成18年4月20日現在)

参考資料3

	承認年月日	CDM/JI	申請者	実施国	プロジェクト名	プロジェクトの概要	排出削減量 (万t-CO ₂ /年)	支援担当 省庁	進捗状況
48	平成18年4月20日	CDM	三菱UFJ証券株式会社	マレーシア	マレーシア国ペラク州に位置する総発電量11.5MWのバーム椰子房有効利用バイオマス発電事業	新規にバーム椰子房発電プラントを建設し、従来、投棄されていたバーム椰子房を燃料として発電する。	15.6	経済産業省 環境省	ホスト国承認 審査中
47	平成18年4月20日	CDM	電源開発(株)	ブラジル	ブラジル国Aquarius小水カプロジェクト	発電容量4.2MWの流れ込み式水力発電事業。	1.4	経済産業省	ホスト国承認 審査中
46	平成18年4月18日	CDM	株式会社農業技術マーケティング	マレーシア	サバ州サンダカンに位置する総発電量が11.5MWのバーム椰子房有効利用バイオマス発電事業(セグントールバイオエネルギー)	新規にバーム椰子房発電プラントを建設し、従来、投棄されていたバーム椰子房を燃料として発電する。	25	経済産業省 環境省	ホスト国承認 済み
45	平成18年4月18日	CDM	株式会社農業技術マーケティング	マレーシア	サバ州サンダカンに位置する総発電量が11.5MWのバーム椰子房有効利用バイオマス発電事業(キナバイオパワー)	新規にバーム椰子房発電プラントを建設し、従来、投棄されていたバーム椰子房を燃料として発電する。	25	経済産業省 環境省	ホスト国承認 済み
44	平成18年3月13日	JI	東北電力株式会社	ハンガリー	South Nyírség バイオエネルギープロジェクト	木材を燃料とする発電容量約19MWのバイオマス発電事業を行う。	10	経済産業省	ホスト国承認 済み
43	平成18年3月13日	JI	住友商事株式会社	ロシア	ロシア連邦における HFC23の熱破壊による温室効果ガス排出削減	HCFC22製造プラントに、熱破壊システムを導入し、現在放散しているHFC23を回収し破壊する。	39	経済産業省 環境省	ホスト国承認 審査中
42	平成18年2月17日	CDM	ナットソース・ジャパン株式会社	ブラジル	カナブラバ・ランドフィルガスプロジェクト	ごみ処理場においてランドフィルガス(埋め立てガス)を回収し、回収したランドフィルガスを燃焼させる。	21	経済産業省	ホスト国承認 審査中
41	平成18年2月2日	CDM	松下電器産業株式会社	マレーシア	マレーシア国における工場省エネ事業 (PHAAM, PCOM (PJ), PCOM (SA), PEDMA, MEDEM)	家電製品・部品等製造工場に省エネ対策を導入し、電力消費量及び天然ガス消費量を削減することにより、CO2排出量を削減する。	0.7	経済産業省	ホスト国承認 審査中
40	平成18年2月2日	CDM	松下電器産業株式会社	マレーシア	マレーシア国における工場省エネ事業 (MAPREC, PRDM, PSCDDM, PAVCJM, PCM)	家電製品・部品等製造工場に省エネ対策を導入し、電力消費量を削減することにより、CO2排出量を削減する。	0.2	経済産業省	ホスト国承認 審査中
39	平成18年2月2日	CDM	松下電器産業株式会社	マレーシア	マレーシア国における工場省エネ事業 (MTPDM)	ブラウン管製造工場に省エネ対策を導入し、電力消費量及び天然ガス消費量を削減することにより、CO2排出量を削減する。	0.7	経済産業省	ホスト国承認 審査中
38	平成18年1月27日	CDM	国際協力銀行	エジプト	エジプト・アラブ共和国ザファラーナ風力発電所プロジェクト	エジプト国ザファラーナ地区における120MWの風力発電プロジェクト。再生可能エネルギーとして、風力を利用し、発電事業を行う。	25	外務省	ホスト国承認 審査中
37	平成18年1月24日	CDM	日本カーボンファイナンス(株)	インド	インドIFFCO社・アンモニア製造プラント改良による蒸気消費量削減プロジェクト	尿素肥料製造工場におけるアンモニア製造プラントの改良を行い、アンモニア製造プロセスの省エネルギーを図る。	26	経済産業省	ホスト国承認 済み
36	平成18年1月10日	CDM	新エネルギー・産業技術総合開発機構	インド	コークス乾式消火設備モデル事業	赤熱コークスを、従来の湿式法(水)に代え乾式法(窒素)で冷却し、回収した熱を製鉄所の工場用蒸気として利用し省エネルギーを図る。	13.7	経済産業省	ホスト国承認 済み
35	平成17年12月27日	CDM	三井物産株式会社	インドネシア	インドネシア/プラン島における養豚場糞尿貯蔵池からのメタンガス回収プロジェクト	養豚場に閉鎖式糞尿浄化処理施設を導入することで、糞尿貯蔵池から発生するメタンガスを回収、燃焼する。	17	経済産業省	ホスト国承認 審査中
34	平成17年12月27日	CDM	丸紅株式会社	韓国	ユンドウック風力発電プロジェクト	1.65MW規模の発電機24基(合計発電容量39.6MW)からなる風力発電事業を実施する。	6	経済産業省	CDM理事会 審査中
33	平成17年12月27日	CDM	三井物産株式会社	チリ	レパント・ランドフィルのガス処理プロジェクト	高効率の燃焼設備の導入により、ゴミ処分場から発生するメタンを回収、燃焼する。	40	経済産業省	CDM理事会 登録済み

32	平成17年12月21日	CDM	東北電力株式会社	ベトナム	ソンマック水力発電所再生プロジェクト	機器故障等により運転停止となった水力発電所を再生する。	0.4	経済産業省	ホスト国承認済み
31	平成17年12月19日	CDM	新日鉱テクノリサーチ株式会社	ベトナム	ベトナムゴム工場からの廃水の嫌気性処理とエネルギーの回収プロジェクト	天然ゴムの製造過程にて排出される廃水からメタンガスを回収し、発電する。	0.9	経済産業省	ホスト国承認審査中
30	平成17年12月14日	CDM	三菱商事株式会社 新日本製鐵株式会社	中国	山東東岳HFC23破壊プロジェクト	液中燃焼法による焼却炉を設置することにより、HCFC22の製造工程において副産物として生じるHFC23を分解する。	1011	経済産業省 環境省	CDM理事会登録済み
29	平成17年12月13日	CDM	三井物産(株)	ホンジュラス	チュンバグア・コジェネレーション・プロジェクト	効率的な発電機等の導入により、製糖工程にて発生するバガス(砂糖黍の絞り粕)を活用して発電を行う。	2	経済産業省	ホスト国承認審査中
28	平成17年12月5日	CDM	リコー(株)	インド	インド、ビハールおよびアッタープラデシュ農村地帯における低費用の灌漑設備の普及拡大プロジェクト	既存の賃貸式ディーゼルポンプを廉価な足踏み式ポンプに転換(販売促進)することにより、ディーゼル燃料の使用を削減する。	1	経済産業省	ホスト国承認済み
27	平成17年11月11日	CDM	リコー(株)	エルサルバドル	系統連結型バガスコジェネレーション発電	高性能のボイラーや蒸気タービン発電機を設置し、サトウキビ生産に伴う副産物であるサトウキビの搾りかす(バガス)を利用した発電を行う。	3.7	経済産業省	ホスト国承認済み
26	平成17年11月11日	CDM	三井物産(株)	ホンジュラス	トレスパレス・コジェネレーション・プロジェクト	効率的な発電機等の導入により、製糖工程にて発生するバガス(砂糖黍の絞り粕)を活用して発電を行う。	1.2	経済産業省	ホスト国承認済み
25	平成17年11月11日	CDM	日本カーボンファイナンス(株)	南アフリカ	南アフリカ共和国・Chlookop廃棄物埋立処分場メタンガス回収処理プロジェクト	廃棄物埋立処分場でメタンガス回収処理設備を導入し、回収したガスを燃焼する。	19	経済産業省	有効化審査中
24	平成17年11月11日	CDM	JMD温暖化ガス削減(株)	中国	中国浙江巨化公司HFC23分解CDMプロジェクト	過熱蒸気分解装置を設置することにより、HCFC22の製造工程において副産物として生じるHFC23を分解する。	580	経済産業省 環境省	CDM理事会登録済み
23	平成17年10月27日	CDM	(株)ハシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル	アルゼンチン	アルゼンチン国パタゴニア地方における風力発電事業	風力発電事業をCDM事業として実施することにより、パタゴニア電力系統に供給されている電力の8割以上を生成する火力発電所の燃料である天然ガスを代替する。	2.7	経済産業省	CDM理事会登録済み
22	平成17年10月27日	CDM	三井物産(株)	ホンジュラス	ラ・グレスシア・コジェネレーション・プロジェクト	製糖工程にて発生するバガス(砂糖黍の絞り粕)を有効活用するため、高効率の発電機等を導入し、発電した電力を工場の操業の他、余剰分を国内の電力グリッドに販売する。	2.8	経済産業省	ホスト国承認済み
21	平成17年10月5日	CDM	昭和シェル石油(株)	ブラジル	マルカ埋め立て処分場ガス発電プロジェクト	埋立地から発生する埋め立てガスの回収システム、浸出液排水システム、フレアリング設備および発電設備(11MW)を設置する。	17	経済産業省	CDM理事会登録済み
20	平成17年10月5日	CDM	丸紅(株)	韓国	ガンウォン風力発電プロジェクト	98MWの風力発電所を新設する。発電された電力は電力系統に送電される。	15	経済産業省	CDM理事会登録済み
19	平成17年7月26日	CDM	電源開発(株)	ブラジル	Caieiras ランドフィルガス削減プロジェクト	ゴミ埋め立て場のランドフィルから発生するバイオガスを回収し、燃焼を図ることにより温室効果ガスの削減を図る。	77	経済産業省	CDM理事会登録済み
18	平成17年7月26日	CDM	ローディアジャパン(株)	韓国	大韓民国温山における亜酸化窒素放出削減プロジェクト	アジピン酸製造時に放出される亜酸化窒素の熱分解工場を設置し、亜酸化窒素の回収、燃焼により大気中に放出される温室効果ガスの削減を図る。	915	経済産業省	CDM理事会登録済み
17	平成17年4月21日	CDM	昭和シェル石油(株)	ブラジル	イラニ バイオマス発電プロジェクト	製紙工場における生産能力の増強に伴い、9.43MWのバイオマス発電機を新設し、工場内で自家消費することで、グリッドからの電力購入に代替する。	18	経済産業省	ホスト国承認審査中

16	平成17年2月23日	CDM	清水建設(株)	アルメニア	エレバン市ヌバラシエン埋立処分場メタンガス回収・発電プロジェクト	埋立処分場において発生するメタンガスを回収し、発電を行うことによって温室効果ガスの排出を削減する。	13.5	環境省 経済産業省 国土交通省	CDM理事会 登録済み
15	平成17年1月12日	CDM	鹿島建設(株)	マレーシア	マレーシア国マラッカ市クルボン最終処分場におけるLFG回収および発電CDM事業	廃棄物埋め立て最終処分場からの発生ガス(LFG)を回収し、発電する(系統電源接続、2MW)。	6	経済産業省 国土交通省	CDM理事会 審査中
14	平成17年1月12日	CDM	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	ベトナム	ビール工場省エネモデル事業	ビール工場において、廃蒸気再利用システム、冷却電力の合理化システム、殺菌機の水・蒸気利用合理化システム、バイオガスボイラシステム等の省エネルギー技術を導入し、温室効果ガスの排出を削減する。	1	経済産業省	ホスト国承認 済み
13	平成17年1月12日	CDM	昭和シェル石油(株)	ブラジル	サルバドール・ダ・バイア埋め立て処分場ガスマネジメントプロジェクト	埋め立て処分場においてメタンの回収及び分解の効率を改善する装置を導入する。	66	経済産業省	CDM理事会 登録済み
12	平成16年10月1日	CDM	東京電力(株)	チリ	養豚場尿尿由来メタンガス回収・燃焼プロジェクト	豚舎からの尿尿を回収し、嫌気性発酵により放出されるメタンガスを燃焼させ、CO ₂ に転換させる。	24.9	経済産業省	CDM理事会 登録済み
11	平成16年10月1日	CDM	東京電力(株)	チリ	養豚場尿尿由来メタンガス回収・燃焼プロジェクト	豚舎からの尿尿を回収し、嫌気性発酵により放出されるメタンガスを燃焼させ、CO ₂ に転換させる。	8.4	経済産業省	CDM理事会 登録済み
10	平成16年10月1日	CDM	東京電力(株)	チリ	養豚場尿尿由来メタンガス回収・燃焼プロジェクト	豚舎からの尿尿を回収し、嫌気性発酵により放出されるメタンガスを燃焼させ、CO ₂ に転換させる。	7.9	経済産業省	CDM理事会 登録済み
9	平成16年7月22日	CDM	電源開発(株)	チリ	Graneros 工場燃料転換プロジェクト	食品製造工場において、燃料を石炭および石油燃料から天然ガスに転換する。	1.4	経済産業省	CDM理事会 登録済み
8	平成16年6月29日	CDM	中部電力(株)	タイ	タイ、ピチット県におけるATB初設発電事業	新規に初設発電プラントを建設し発電する	8.4	経済産業省 環境省	ホスト国承認 審査中
7	平成16年5月19日	CDM	住友商事(株)	インド	インド・グジャラット州在GFL社HCFC22製造プラントにおけるHFC23熱破壊による温室効果ガス削減プロジェクト	HCFC22の副生産物としてのHFC23の破壊	338	経済産業省 環境省	CDM理事会 登録済み
6	平成15年12月3日	CDM	日本ベトナム石油(株)	ベトナム	ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクト	ランドン油田において当初、焼却処分(フレア)していた随伴ガスを回収し、パイプラインを建設して陸上に供給する。	68	経済産業省	CDM理事会 登録済み
5	平成15年7月29日	CDM	関西電力(株) (e7基金を代表して申請)	ブータン王国	e7ブータン小規模水力発電CDMプロジェクト	未電化の村に小規模水力発電所を建設する	524 ^t CO ₂	経済産業省	CDM理事会 登録済み
4	平成15年7月15日	CDM	イネオス ケミカル(株)	韓国	韓国ウルサン市におけるHFC類の破壊事業	HCFC22の副生産物としてのHFC23の破壊	140	経済産業省 環境省	CDM理事会 登録済み
3	平成15年5月22日	CDM	電源開発(株)	タイ	タイ国ヤラにおけるゴム木廃材発電計画	ゴム木廃材を利用したバイオマス発電	6	経済産業省 農林水産省	ホスト国承認 審査中
2	平成14年12月12日	CDM	豊田通商(株)	ブラジル	V&M Tubes do Brazil 燃料転換プロジェクト	バイオマスを利用した鉄鋼生産	113	経済産業省	方法論審査中
1	平成14年12月12日	J1	新エネルギー・産業技術総合開発機構	カザフスタン	熱電併給所省エネルギーモデル事業	熱電併給所においてお日本で導入実績のある高効率のガスタービン及び排熱回収ボイラによるコージェネ設備を導入する	6.2	経済産業省	ホスト国承認 済み

合計 3741.7 万^tCO₂/年